

## (専門基礎分野)

授業科目	薬理学	講師	薬剤師	単位数	
				1	
学習目標	1.薬理学の基礎知識を理解する。 2.健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解する。			時間数	
				30	
				学年	
				1	
				時期	
				第1~2学期	
回数	主 題	学習内容		授業方法	講師
1	薬理学の概念 薬理作用 与薬方法と生体の反応 薬物に影響を及ぼす要因	1.薬理学の成り立ち 2.薬が作用する仕組み 3.薬物の投与経路 4.薬物の吸収と分布 5.薬物の代謝と排泄 6.薬物相互作用 7.薬効の個人差に影響する因子		講義	薬剤師
2	薬物の取扱と保管方法 医薬品等の安全な使用	1.取り扱い方法の基準 2.表示と保管 3.麻薬の取り扱い者 4.医薬品の安全管理対策 5.禁忌 6.混合時の注意 7.抗がん剤の取り扱い		講義	
3	薬の有害作用 薬物による副作用と中毒 医薬品による健康被害 服薬指導の実際	1.薬の有害作用と有害事象 2.主作用と副作用 3.薬物の反復投与による影響 4.医薬品による健康被害の実際 5.服薬指導内容と方法		講義	
4	おもな治療薬・麻酔薬と薬理作用	1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用① 1)感染症薬		講義	
5		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用② 1)抗がん薬		講義	
6		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用③ 1)免疫治療薬		講義	
7		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用④ 1)抗アレルギー薬・抗炎症薬		講義	
8		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑤ 1)末梢での神経活動作用する薬物		講義	
9		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑥ 1)中枢神経系に作用する薬物		講義	

10		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑦ 1)心臓・血管系に作用する薬物	講義	
11		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑧ 1)呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	講義	
12		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑨ 1)物質代謝に作用する薬物	講義	
13		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑩ 1)救急の際に使用される薬物	講義	
14		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑪ 1)皮膚科薬・眼科用薬 2)漢方薬、輸液製剤・輸血剤	講義	
15	評価	単位認定試験（45分） まとめ		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進[2]薬理学	